

## 明日香村地域おこし協力隊活動報告書 2025年2月 徳力一志

明日香村の2月は寒く雪や氷点下の日も多々ありました。草花の成長も弱く、農閑期である冬は農地を整備する絶好の機会となります。来年度の作付けに向け、今年度の課題を洗い出し、改善に努める期間となりました。



地域おこし協力隊の任期中、毎冬放置竹林の整備と竹を使った農地の土留め施工を行うことにしました。竹林は放置することで獣の住処となります。また、イノシシによって掘り返された畑の法面を修復するため、土留めの設置を行いました。

土留めは現在6基作成しており、それぞれ杭の種類や細かい施工方法を変えることでよりよい耐久性、施工性を目指しています。また、土留めだけでなく竹チップなど農業資材としての活用方法も模索しています。



村内の里と山の境界に設置されている防獣フェンス。維持管理は各集落ごとに割り振りされていますが、突破されている箇所が多々あるのが現状でした。獣害被害の原因は様々な要素が絡んでおり、一筋縄ではいきませんが、こうした点検、補修作業が非常に重要な要素であることを再認識しました。

農業を続けるために獣害対策は避けて通れないことを去年身をもって体感し、明日香村の現状をきちんと知ろうと考え、取り組み始めました。村でも防獣フェンスをはじめ様々な対策をしていますが年々被害が拡大しています。村の美しい景観が農業によって支えられている以上、まず自分が正しい知識を身に着け、できることを積み重ねて少しでも被害削減に努め、さらなる明日香村の農業の発展に貢献したいと思っています。



「ススキ」と呼ばれる伝統的な藁の保存方法に挑戦しました。作り方は地域差があるみたいで、動画や写真を参考に作りました。見よう見まねですが、なかなかインパクトのある物体が完成しました。地域振興公社でも毎年作っているので、来年度はそちらでもしっかり学んでまた作りたいです。

来月も引き続き竹林整備、土留め設置、農地の整備に注力する予定です。また、明日香村ハーフマラソンの開催など楽しげなイベントもあるので楽しみです。